

## 収録雑誌例

◆風俗草紙 1953年7月～1954年10月 第1号～第2巻第8号	13冊	◆怪奇雑誌 1949年4月～1952年11月 爛漫号～特大号	26冊
◆現代読本（風俗草紙臨時増刊） 1954年6月 創刊号	1冊	◆奇抜雑誌 1949年4月～1951年9月 第1号～第3巻9号	8冊
◆風俗科学 1953年8月～1955年3月 創刊号～第3巻第3号	19冊	◆青春タイムス 1952年9月 第5巻第9号	1冊
◆風俗クラブ（春光社） 1954年3月～1954年4月 第1巻第1号～第1巻第2号	2冊	◆青春ロマンス 1950年1月～1952年11月 第3巻第1号～第6巻第11号	12冊
◆風俗クラブ（風俗研究社） 1960年2月 創刊号	1冊	◆読切ロマンス 1951年8月～1952年7月	8冊
◆人間探求 1951年5月～1953年5月 増刊第11号～5月号	5冊	◆内外特報 1953年8月～（1953年）11月 8月下旬号～11月30日号	6冊
◆りべらる 1949年5月～1955年4月 第4巻第5号～第10巻第5号	8冊	◆奇抜探求 1952年8月 特大号	1冊
◆漫画タイム（りべらる増刊） 1955年8月 第10巻第10号	1冊	◆別冊 怪奇世界 1951年1月 新年号	1冊
◆千一夜 1950年1月～1953年11月 第3巻第1号～第6巻第11号	31冊	◆怪奇秘話 1953年 自慢物識号	1冊
◆真相実話 1949年5月～1952年10月 第1巻第1号～第4巻第10号	40冊	◆オール・ロマンス 1951年3月 第4巻第3号	1冊
◆デカメロン 1951年1月～1955年3月 第5巻1号～第5巻4号	26冊	◆読切雑誌 臨時増刊 実話と奇譚 1958年3月 第9巻第4号	1冊
◆内外旬報 1954年5月30日～1955年6月20日	8冊	◆風俗奇譚（臨時増刊） 1960年3月～1972年10月 春の臨時増刊号～10月臨時増刊	38冊
◆旬刊タイムス 1954年6月25日～1954年7月25日	2冊	◆画報風俗奇譚 1960年5月～1961年10月 〔第1集〕～第17集	18冊
◆夜よむ新聞 1954年7月1日～1955年5月15日	9冊	◆風俗奇譚 1960年1月～1973年7月 臨時特集号～1973年7月号	146冊

\*収録内容は予告なく変更の可能性がございます。  
\*原則として原本の奥付に記載された刊行年月、巻号を示しています。国立国会図書館をはじめ、国内の図書館にまとめて所蔵がない巻号を中心に収録しております（収録年代は完結を示すものではありません）。



# 社会文化史データベース

## 性風俗稀少雑誌コレクション

原本所蔵：三橋順子（性社会・文化史研究者／明治大学非常勤講師）

解題：三橋順子、石川巧（立教大学教授）

価格 ¥400,000（税別）

プラットフォーム：J-DAC ジャパン デジタル アーカイブズ センター

完全買切型（ご購入後のプラットフォーム利用料、年間維持費用は不要です）

<1ヶ月の無料トライアル受付中、お申し込みは kenkyushien@maruzen.co.jpまで>（お申し込みは学術機関に限ります）

## 1950年代から70年代に刊行された大衆娯楽・性風俗雑誌

## 400冊以上を横断的に利用できるデータベース

第二次世界大戦後、出版規制緩和により夥しい数の大衆娯楽雑誌が刊行された。戦後占領期の「カストリ雑誌」についてはメリーランド大学プランゲ文庫等の資料を中心に研究が進められてきたが、GHQによる検閲が終了した1950年代以降、70年代初頭までの出版物はまとまって収集・公開している機関が存在せず、全貌の把握も困難な状況が続いていた。この度収録するタイトルも、網羅的に所蔵している図書館等ではなく、いずれも通覧が難しいものばかりである。小説、芸能・映画情報をはじめ、同性愛、異性装、サディズム、マゾヒズム等を題材とした論文やエッセイ、読者投稿欄や文通欄など、収録記事は多岐にわたる。また、売春防止法制定前後の全国の歓楽街、「赤線」等に関するルポルタージュや地図も多く含む。

雑誌名、巻号、発行年月での閲覧はもとより、記事名、執筆者名、出版社名等での検索も可能とし、膨大な記事にスムーズにアクセスできるようになる。

史料的空白を埋める雑誌アーカイブであり、ジェンダー、セクシュアリティ、近現代史、近代文学、出版文化史など、複数の分野で新たな地平を拓くデータベースである。



# 社会文化史データベース

## 性風俗稀少雑誌コレクション



# 戦後日本の大衆娯楽・性風俗を映す貴重な雑誌アーカイブ

読者投稿欄

「風俗科学」折込 第2巻第7号  
(1954年7月)

- ◆ 1950～70年代の稀少な大衆娯楽・性風俗雑誌400冊以上を収録
- ◆ 小説、エッセイ、ルポルタージュ、読者投稿欄など、1万件に及ぶ記事に自在にアクセス
- ◆ 雑誌名、巻号、発行年月からの閲覧はもちろん、作品・記事名、執筆者名、出版社名等での検索も可能

小説



「内外旬報」1955年6月20日号

映画情報



「真相実話」第4巻第8号 (1952年8月)

エッセイ

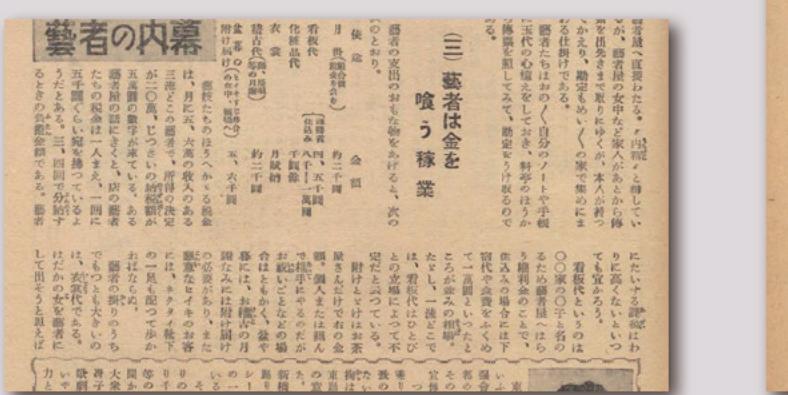


「風俗奇譚」1961年2月号／1971年12月号

ルポルタージュ



「千一夜」第4巻第9号 (1951年9月)



「りべらる」第7巻第3号 (1954年3月号)

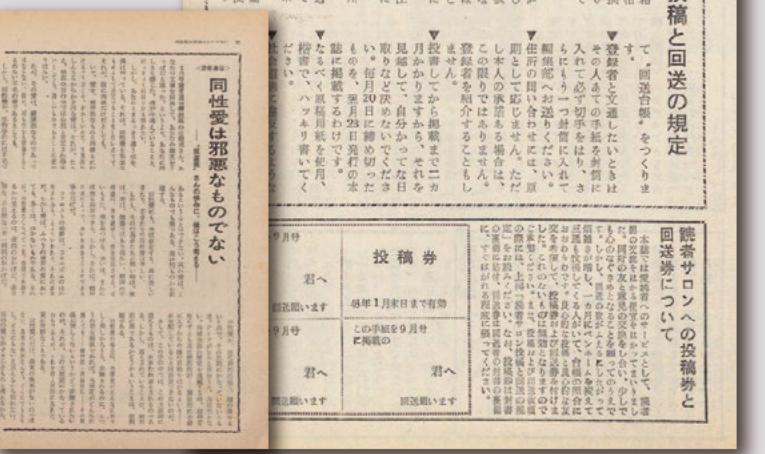


「千一夜」第4巻第9号 (1951年9月)

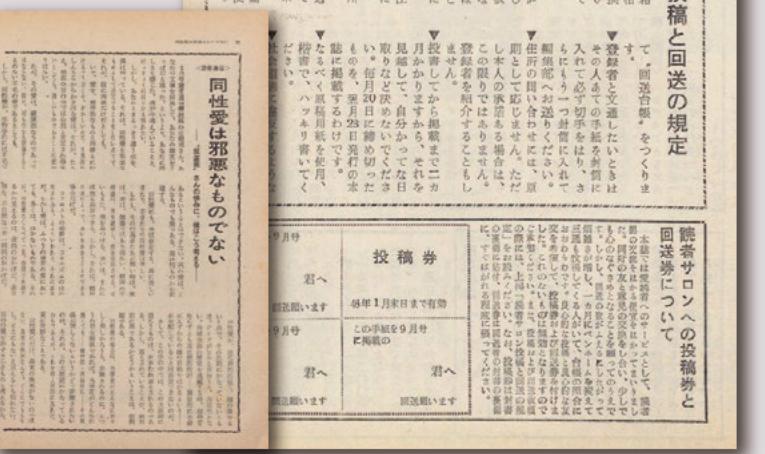


「どみあの花園」  
風俗科学研究室

読者サロン投稿と回送の規定



「内外旬報」1955年6月20日号



「風俗奇譚」読者投稿欄・規定等 1963年5月号／1970年9月号

## パイオニア精神ただよう稀少雑誌コレクション

国際日本文化研究センター所長 井上章一

たいていのテーマには、学説史の積み重ねがあるものです。そこをおいかけていけば、読むべき史料も、見えてくるでしょう。どういう文献に目をとおせばいいか。その見極めも、つくのではないでしょうか。

また、議論的となってきたテーマなら、水先案内の読み物も見つけやすい。電腦媒体での検索手順も、とのつてたりするのではないか。大きな図書館へいければ、手足の司書に、いろいろ教えてもらえそうな気もあります。

しかし、講壇的な学術体制が光をあてなかったテーマは、べつです。あまり研究されてこなかったので、学説史はありません。史料検索の筋道も、なかなか見とおせないでしょう。

性風俗とかわることどもも、そういう課題の一つにあげられます。社会的には重大な意義がある。興味もいだかれる。ですが、様子ぶる学界人たちは、こういうテーマか

ら目をそむけてきました。興味本位におちいってはいけないと、言い聞かせったりして。こうして、ほんとうは興味深い問題が、おきざりにされてきたのです。

三橋さんは、いわゆる女装者の歴史を、おいかけてこられました。とりわけ、その現代史に関しては、圧倒的な開拓者であったと思います。尊敬もしております。

もとより、検索の目安があらかじめとのつていたよう

なテーマではありません。水先案内など、どこにもないことを調べてこられました。今回披露していただける稀少雑誌コレクションも、その調査であつめられたものです。

もちろん、データとしておもしろいことは、うけあいます。しかし、それ以上に、蒐集へこめられているパイオニア精神も、味わってほしい。口はばついたい言い草ですが、そんな文句もそえて、私の推薦文とさせていただきます。

## もうひとつの都市誌へ

立命館大学教授 加藤政洋

「東京都を新しく我が平和国家の首都として十分にその政治、経済、文化等についての機能を發揮し得るよう計画し、建設することを目的とする」。これは、1950年6月28日に立法された「首都建設法」の文言である。その3日前に勃発した朝鮮戦争の特需によって経済復興への途が一気に開かれ、翌1951年にはサンフランシスコ平和条約が結ばれるなど、当時、日本は新しい局面を迎えていた。

平和国家の首都の足もとでは、時を同じくして、都市社会の裏面とでもいべき文化空間が萌芽し、地下茎のごとく広く深く根をおろしはじめていたことは、あまり知られていない。すなわち、性風俗のメディア空間である。今回デジタル配信されるところとなった『社会文化史データベース 性風俗稀少雑誌コレクション』は、その全貌にせまる格好の資料となろう。現在、古書店のウェブサイトなどで検索すれば、コレクションに収録された雑誌のかなりの量を入手することができる。だが、これほど体系性をもって

揃えることは至難の業だ。『新宿「性なる街」の歴史地理』の著者・三橋順子氏が所蔵する雑誌をアーカイブしたものであるという。氏の蒐集力に敬意を表したい。

かつてドイツの哲学者ヴァルター・ベンヤミンは、パリの都市誌を「殺人と暴動、道路網の血塗られた交差点、ラブホテル、大火事といった……人目につかない深く隠された相貌から組み立ててみること」として構想した。こうした観点から平和国家の首都たる東京の「もうひとつの都市誌」を企図するならば、本コレクションはさまざまな手がかりを与えてくれるはずだ。誌面には地図や絵図、そして写真が思いのほか多く掲載されている。それらはいずれも、失われ、忘却された風景ばかりである。

都市の新たな空間誌を構築しようとするとき、本コレクションは必ずやその起点となるにちがいない。

戦後日本の性風俗雑誌を収集するには、独特的の困難がともなう。内容が性風俗などに、自治体図書館や大学図書館には、ほとんど所蔵されていない。出版社・発行団体がすでになくなっていることも多い。一つの雑誌を創刊から最終号までそろえようと思うなら、時間と労力と費用をかけて、古書店に出たものをコツコツと買い集めるほかない。それどころか、どの号が最終号なのかさえ、容易にはわからないのだ。

戦後日本のジェンダー・セクシュアリティ史、クィア史の研究者は、そのような努力を重ね、独自に雑誌を収集して分析の材料としてきた。だが、これから先の研究者は、その苦労が大幅に軽減される。このデータベースの登場により、1950年代から70年代にかけての性風俗雑誌の数々に容易にアクセスできるようになるからだ。記事目録をクリックするだけで、PDFとなった記事を読める。国内外から、自らのデバイスで。

## 「性」の戦後史が、ここから生まれる。

早稲田大学教授 藤野裕子